

業務の新聞

第26号 平成30年 6月14日

会社のボーナス回答

6月12日第3回ボーナス交渉が開催されました。席上、会社経営側は『最終回答』として以下のように“会社回答”を提示しました。

**基準内賃金の2,91ヶ月分
55歳以上の社員及びグリーンスタッフへの加算はしない
支払日は6/28以降準備出来次第**

3年連続で同じ数字での会社回答となりました。

皆さんはこの会社回答をどのように感じますか？

東日本ユニオン本部は、席上、会社経営側に「持ち帰り検討する」旨を伝えました。

皆さんにお伝えしてきたように、会社経営側は、「5期連続で基本給改定を行ってきており、会社としても考慮してベアを実施してきた」「当社の支給水準は、支給月数、両方とも世の中のいわゆる大企業の平均を上回っている、会社側としては社員に十分な還元を行っていると認識している」「会社としては社員のモチベーションだとか成果配分という部分で、そこは十分意識して支給していると認識している。」などの発言に終始しました。

私たちが掲げた要求に対して、会社経営側の回答は“満額”には達しませんでした。私たちのたたかいが会社経営側を動かすまで至らなかつたとの現実を受け止めなければなりません。悔しさも含めこのたびのたたかいを振り返り、仲間たちの要求実現に向けて継続した運動を展開しましょう。

ダイヤ改正職場勉強会

ダイヤ改正職場勉強会の実現に向けて、関係各所・関係者と論議を進めています。

働き方の多様化やAIの活用など私たちを取り巻く動きはスピード感を増しています。

「こんなはずじゃなかった?!」とならないよう地に足を付けて、仲間たちの声をもとに考え行動しなければなりません。「私たちには何が必要なのか！」「安全をいかにまもるか！」「会社業績をどう考えるか！」私たちは、労働条件・労働環境の維持・改善は労使の共通の課題だと考えます。

会社・労働組合の枠を超えて課題克服に向けて取り組みを進めたいと考えています。

皆さんの意見を聞かせてください。

間もなく提出します。

皆さんから頂いた「JR発足30周年アンケート」をもとにした会社への申し入れを準備いています。

ダイヤ改正や施策に関する申し入れの中でも“皆さんの声”を組み入れながら支社経営側と論議してきました。残念ながら成果をお返しすることはまだ出来ませんが、問題点・改善点などを共通認識として論議することが出来ています。

この会社が創立して30年が経っています。会社経営側には見えない・聞こえない・気づかない「問題点・改善点」などが私たちの職場には“存在します”。

“皆さんの声”的実現のために取り組みを進めます。より良い職場を創るためにご協力をお願いします。